

Ⅱ 火災の概要

1. 火災の概要

(1) 出火件数と出火率

平成23年の出火件数は435件で、前年から変化はなかった。

全都道府県中では、第36位となっている。また、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、3.09件となっており、全国平均（3.94件）に比べ、0.85件下回っている。

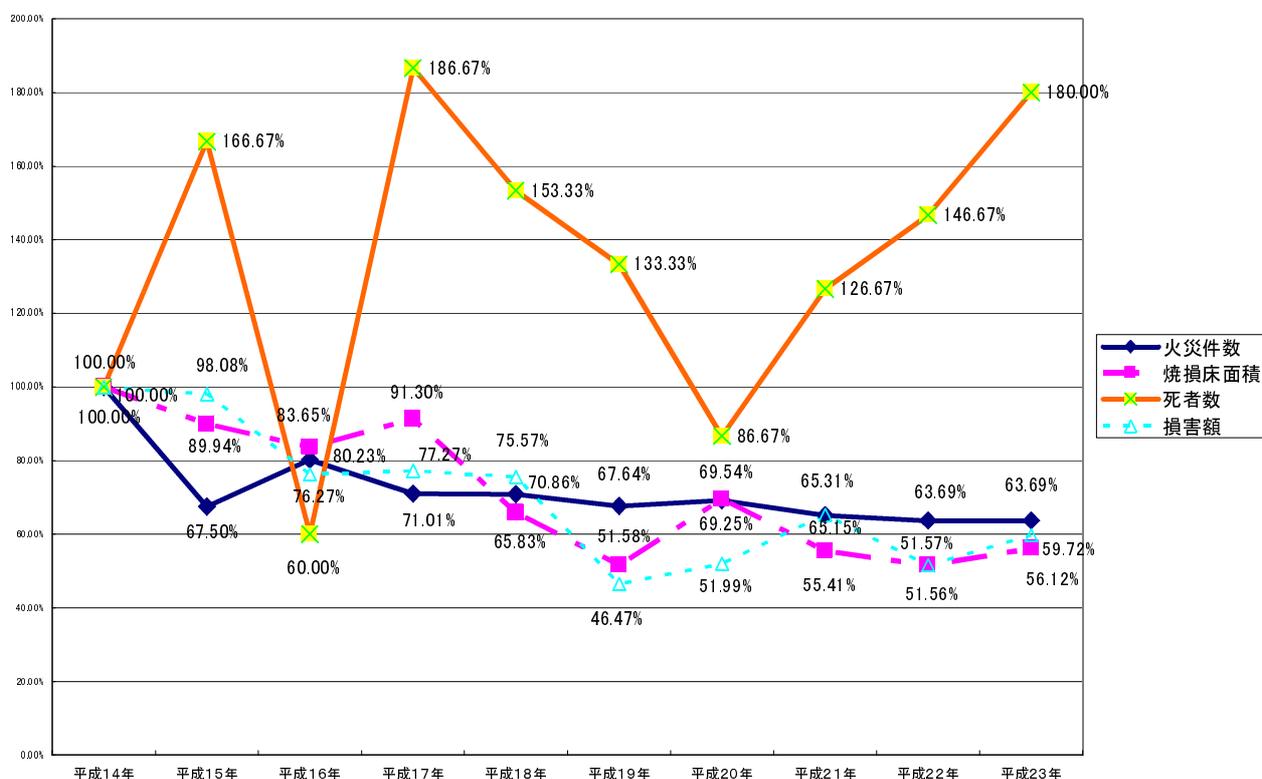
火災種別ごとの出火件数は、建物火災が252件（57.9%）で最も多く、その火元用途は、住宅が149件で、最も多くなっている。又、林野火災は17件で、前年に比べ8件増加した。

一日当たりの出火件数は1.2件（前年1.2件）で、無火災の市町村は曾爾村、御杖村、山添村、野迫川村の4村である。

火災種別出火件数

区 分	単位	平成23年	平成22年	前 年 対 比	
				増 減 数	増 減 率
建 物 火 災	件	252	275	△23	△8.4%
林 野 火 災	件	17	9	8	88.9%
車 両 火 災	件	46	48	△2	△4.2%
そ の 他 火 災	件	120	103	17	16.5%

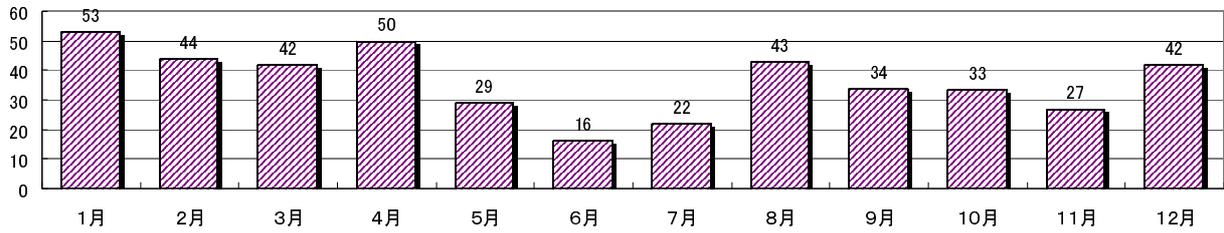
火災の傾向 (平成14年=100)



(2) 月別出火状況

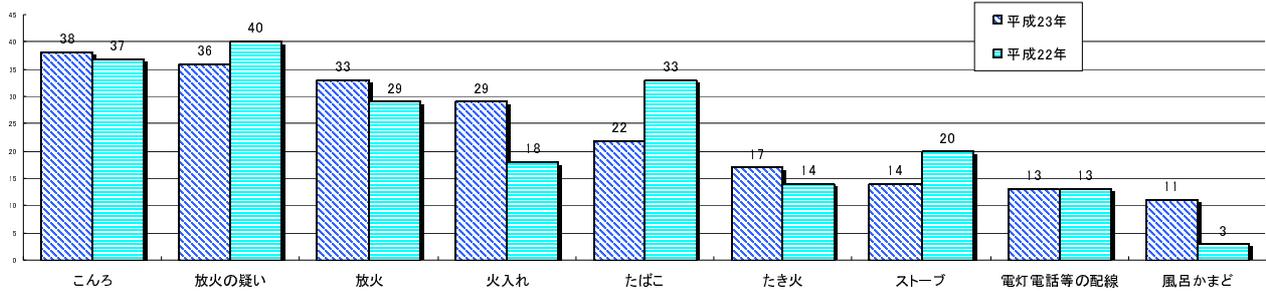
月別の出火件数は、1月が53件（全体の12.2%）で最も多く、次いで4月の50件（11.5%）、2月の44件（10.1%）となっており、最も少ない月は、6月の16件（3.7%）である。

月別出火件数



(3) 出火原因

出火原因の大半は、放火や火の不始末、不注意から発生している。平成23年中の出火原因の第1位は、「こんろ」による火災が38件（8.7%）、第2位が「放火の疑い」によるもので36件（8.3%）、第3位は「放火」によるもので33件（7.6%）となっている。



(4) 焼損棟数と焼損面積

平成23年中の火災の建物焼損棟数は377棟で、前年に比べ32棟（9.3%）増加し、そのうち全焼は102棟（前年77棟）で、焼損棟数合計の27.1%を占めている。

建物焼損床面積は12,802㎡で、焼損表面積は2,319㎡であった。林野焼損面積は295aで、前年に比べ71a減少した。

焼損棟数と焼損面積

	建 物							林 野		
	建 物 火 災 件 数	焼 損 棟 数					焼 損 面 積		林 野 火 災 件 数	焼 損 面 積
		合 計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や	床面積	表面積		
平成21年	261	366	102	27	106	131	12,639	1,505	8	73
平成22年	275	345	77	24	100	144	11,763	1,554	9	366
平成23年	252	377	102	23	112	140	12,802	2,319	17	295

(5) り災世帯とり災人員

平成23年中の火災でり災した世帯数は261世帯で、前年に比べ73世帯増加、そのうち全損は73世帯で、全体の28.0%を占めている。

り災人員は567人で、前年に比べ65人増加した。

り 災 世 帯 と り 災 人 員

	り 災 世 帯 数				り 災 人 員	1 日 平 均 り 災 人 員
	合 計	全 損	半 損	小 損		
平成21年	216	67	14	135	526	1.4
平成22年	188	35	13	140	502	1.4
平成23年	261	73	15	173	567	1.6

(6) 死傷者数

平成23年の火災による死者は27人で、前年に比べ5人増加した。

死者が生じたのは、建物火災によるものが22人、車両火災によるものが1人、その他火災によるものが4人であった。

死に至った経過は、放火自殺7人、その他12人となっている。

負傷者は74人で、前年に比べ1人の増加となった。

死 傷 者 の 数

	死 者 年 齢 別														負 傷 者
	0~10	11~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61~70	71~80	81~	不 明	計	男	女	不 明	
21年				1	1	5	2	1	9		19	14	5		69
22年			2	2		5	4	4	5		22	12	10		73
23年		1		1	1	2	9	9	4		27	20	7		74

死者の生じた火災と出火時刻

	火 災 種 別					出 火 時 刻						
	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	計	0~4	4~8	8~12	12~16	16~20	20~24	不 明 調 査 中
21年	13		4	2	19	6	1	3	3	2	3	1
22年	15		3	4	22	5	4	3	2	5	1	2
23年	22		1	4	27	3	5	3	4	4	7	1

死者の発生した経過と死因

	死者の発生した経過							死 因					
	逃 げ 遅 れ	出火後 再侵入	着 衣 着 火	放 火 自 殺	その他	不 明	計	火 傷	一 酸 化 炭 素 中 毒	打 撲 ・ 骨 折 等	自 殺	そ の 他	不 明
平成 2 1 年	7			3	7		19	5	10	1	3		
平成 2 2 年				7	7	8	22	3	10		7		2
平成 2 3 年				7	12	8	27	1	19		7		

(7) 損害額

平成 2 3 年中の火災による損害額は 1 3 億 2, 9 5 2 万円で、前年に比べ 1 億 8, 1 6 9 万円増加した。うち建物火災は 1 2 億 9, 9 8 3 万円で、全体の 9 7. 8 % を占めている。

また、火災一件当たりの損害額は 3 0 6 万円で、1 日当たりに換算すると、3 6 4 万円が毎日灰になっていることになる。